

風の子 花の子 求める子

令和8年6月号

「みんな輝いた 最高の運動会」

校長 日野 英和

5月24日（日）、心配されていた天候にも恵まれ、神拝小学校の運動会が無事に開催されました。運動会当日までの児童の体調管理等につきまして、ご家庭の皆様には大変お世話になりました。また、ご観覧いただいた地域の皆様の惜しみない応援に、心より感謝申し上げます。

皆様に見守られながら、児童は安全に、伸び伸びと、そして楽しみながら演技をすることができました。さらに、運動会の円滑な運営のために早朝からご協力いただいたPTAの皆様、準備や片付けにご尽力いただいた皆様のおかげで、本運動会は成功を収めることができました。（昨年度に引き続き、レディ薬局等への目立った駐車もありませんでした。皆様のご協力に深く感謝申し上げます。これを良き文化として今後の学校行事においても、引き続きご協力を賜りますようお願いいたします。）

今年の運動会でも、児童は友達やご家庭、教員からの応援を励みに練習を重ね、どの学年も大変すばらしい演技を披露しました。また、係活動を担った高学年の児童は、その役割と責任を見事に果たし、頼もしい姿を見せてくれました。

学校では、運動会をはじめとした様々な行事を通して、児童がより多くの力を身に付け、大きく成長することを願っています。運動会においては、協力することの大切さ、最後までやり遂げることで得られる達成感、そして仲間とともに築く充実感を味わってほしいと願っていました。



今年のテーマは、「みんなかがやけ 最高の運動会」でした。私も本部席から見守っていましたが、児童のひたむきな姿に心から感動いたしました。そして、その力を存分に発揮できたのは、保護者の皆様や地域の皆様、友達、教員の温かい応援があったからこそだと感じております。

開会式後の赤白応援団と全校児童によるエール交換にはじまり、演技中の応援や観覧席からの惜しみない声援など、24日の運動場は児童への応援の声と拍手に満ちていました。この経験を通して、児童は「応援することのすばらしさ」や「応援してもらうことの心強さ」を学ぶことができたのではないのでしょうか。そして、練習も含め、みんなでつながることでより大きな力が生まれること、協力し合うことの喜びを実感できた運動会であったと思います。

学校は、児童一人一人の自己実現と充実した笑顔のために、これからも支え、応援し続けてまいります。保護者の皆様、地域の皆様におかれましても、神拝小学校がさらに充実した学び舎となるよう、子どもたちや教職員の活動を温かく見守り支えていただきますよう、これまでと同様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

